



「エネルギーシンポジウム in 柏崎・刈羽」が開催されました

去る11月29日(月)、30日(火)の両日、新潟県柏崎市・刈羽村において、「エネルギーシンポジウム in 柏崎・刈羽」が開催され、全国の原子力立地市町村から自治体職員、地域振興関係者および開催地の柏崎市や刈羽村の住民約300名が一堂に集いました。



初日、開会式における会田柏崎市長の挨拶

初日の開会式では横尾英博資源エネルギー庁電力・ガス事業部長、会田洋柏崎市長、品田宏夫刈羽村長の主催挨拶の後、神保和男新潟県副知事の後援挨拶、実施主体として清水正孝財団法人電源地域振興センター会長(電気事業連合会会長・東京電力株式会社代表取締役社長)の挨拶がありました。講演会では資源エネルギー庁代表による政策紹介や、開催地柏崎市の紹介、関満博一橋大学大学院教授の基調講演



2日目、新潟工科大での意見交換会



初日、パネルディスカッションにおける品田刈羽村長

やパネルディスカッション(コーディネーター・中村浩美氏、パネリスト・品田村長、関教授、崎田裕子氏、横尾部長)が行われ、国の政策や柏崎市の現況、原子力市町村のまちづくりについての意見が交わされました。2日目は、開催地柏崎市と刈羽村の直売所などの各施設を巡り、参加者と地域振興関係者との意見交換会が開かれました。

【お問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター

振興支援部 普及啓発課

電話：03・6372・7312



「でんきのふるさと」イベントが新宿と有楽町で開催されました

去る10月29日(金)、30日(土)の2日間、東京・新宿駅西口地下にある新宿駅西口広場イベントコーナーにて「でんきのふるさとふれあいの森」イベント(主催：省エネルギー・新エネルギー普及啓発実行委員会)を開催しました。

このイベントは、首都圏に電気を供給する電気のふるさとである福島県・新潟県の紹介を行うことで、都民を中心とする首都圏の方々に、電気のふるさとの様々な伝統文化や特産品を知っていただき、日常利用している電気のふるさとに思いを寄せてもらうことを目的に企画されました。会場内の特産品や新鮮な野菜の特設販売ブースでは開店前から通勤前のビジネスマンやイベントを知って駆けつけた方々で賑わっておりまして。同時に、各地の郷土芸能も特別に会場にて執り行われ大勢の通行人の注目を浴びておりました。その他にも電気に親しむクイズラリーやペダルを漕いで動かす電気機関車、今注目



「でんきのふるさと ふれあいの森」のオープニングセレモニー



「でんきのふるさと 福島浜通りげんき祭りinごはんミュージアム」

の電気自動車に見入る親子連れも多くおられました。

また、11月22日(月)、23日(火)の2日間にわたって、東京・有楽町駅近くの東京国際フォーラム内ごはんミュージアムで、「でんきのふるさと 福島浜通りげんき祭りinごはんミュージアム」も開催されました。

これは首都圏の皆様にも「でんきのふるさと」とも言える福島県浜通り(双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町)を観光案内や物産販売を通じてもっと知っていただきたいという思いを込めて、地元の特産品や観光のPRを中心に、賑やかなステージやパネル展示等で福島県浜通りの元気を届けようとするものとなりました。

【お問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター

振興支援部 普及啓発課

電話：03・6372・7312



講師を派遣します「講師派遣事業」実施のご案内

当財団では経済産業省資源エネルギー庁から『原子力有識者等活用事業』の委託を受け、全国の地方自治体や各種団体からの要請に応じ、講演会、シンポジウムなどへ、エネルギーや原子力に関する最新の専門知識や情報をお持ちの専門家を講師として派遣しています。

■派遣実施期間

平成22年4月～平成23年3月

■費用

講師派遣に関する経費(講師の旅費、謝金、資料費等)については当センターが負担いたします。

■申込方法

講師派遣申込書に必要な事項をご記入の上、電子メール、FAX、郵送にてお申し込みください。申込書は、当センターのホームページに掲載してありますので、ご利用ください。

なお、詳細につきましては当センターのホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター

振興業務部 振興業務課

電話：03-6372-7305

eメール：youbou@dengen.or.jp まで

ホームページ：

<http://www2.dengen.or.jp/html/works/haken/index.html>



産品相談・商談会を現地で開催!

今年度より、現地開催型の産品相談・商談会を実施しています。各市町村からのご要望に応じて企画・開催できる事が魅力です。

■各方面への大きなメリット

●開催自治体は地域の特産品や事業者の取組などを一度にPRできる。

●参加事業者は遠方へ出向く必要が無い為、時間・費用を節約できる。

●バイヤーは販売・生産現場も見学し、より一層地域を理解できる。

■開催事例

和歌山県の「田辺周辺広域市町村圏組合」からの委託を受け、田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町・すさみ町を対象に、11月9日(火)、10日(水)に実施いたしました。東京から百貨店2社のバイヤーが訪問し、2日間で18社という多くの事業者と面談しました。応募者の競争率が約2倍と人気があったこともあり、来年度も開催を検討しております。周辺地域と合同で広域の参加も可能で、お問い合わせ・ご相談は随時受け付けております。

【ご相談・お問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター

振興支援部 販売支援課

電話：03-6372-7310

ホームページ：

<http://www2.dengen.or.jp/html/works/hanbai/sanpin.html>



今号のプレゼント

今号の「トップにきく」にご登場いただきました玄海町役場のご厚意により、農事組合法人中山牧場の人気商品「佐賀牛黒毛和牛のすき焼き肉(ランプすき焼き)」を5名様にプレゼントいたします。

■プレゼント応募方法

とじ込みのアンケートはがきに必要な事項をご記入して郵送

もしくは、当センターのホームページ(文末参照)の入力フォーム内のアンケートにご記入の上、「送信」ボタンを押して送信してください。

×切は平成23年1月31日。アンケートはがきは当日消印有効です。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【アンケートおよびプレゼントに関するお問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター

振興支援部 普及啓発課

電話：03-6372-7312

ホームページ：

<http://www2.dengen.or.jp/html/leaf/furusato/enquete.html>

「電気のふるさと」フォトコンテストの実施について

当財団では、電源地域における人々の暮らしをテーマに写真を募集します。電源地域で暮らす人々の日常生活、訪れる人々が楽しんでいる姿、地域の人々が誇りに感じている風景など、生活感にあふれる写真を期待します。

■募集のご案内

詳しい実施内容は当センターのホームページをご覧ください。意欲的な作品の応募をお待ちしております。なお、応募された作品は厳正なる審査の上、最優秀賞および優秀賞を決定します。審査結果は平成23年6月、当財団のホームページおよび「電気のふるさと Vol.24」にて発表します。最優秀賞作品の応募者には3万円相当の賞品を、優秀賞作品の応募者には1万5千円相当の賞品を贈呈いたします。

【お問い合わせ先】

(財)電源地域振興センター 電気のふるさと編集室

電話：03-6372-7312

ホームページ：<http://www2.dengen.or.jp/html/works/photocon/index.html>



【「佐賀牛黒毛和牛のすき焼き肉(ランプすき焼き)」に関するお問い合わせ先】

農事組合法人 中山牧場

〒847-1431

佐賀県東松浦郡玄海町普恩寺912

電話：0955-52-5051 FAX：0955-52-5052

ホームページ：<http://www.ii29.com>